

中央臨床検査部

臨床検査技師 白井 龍斗

下肢静脈エコー検査について ～肺血栓塞栓症の予防のために～

肺血栓塞栓症ってどんな病気？

エコノミークラス症候群と聞くとなじみ深いかもしれません。

乗り物に乗るなど長時間同じ体勢でじっとしていると、血行が悪くなり血管内に**血栓(血の塊)**ができることがあります。そのままの状態ですぐに動き始めると、血管内にできた血栓が血液の流れに乗って肺まで運ばれます。



その結果…？

肺の血管が詰まって、呼吸困難などの症状を引き起こしてしまいます。

生理検査室の取り組み

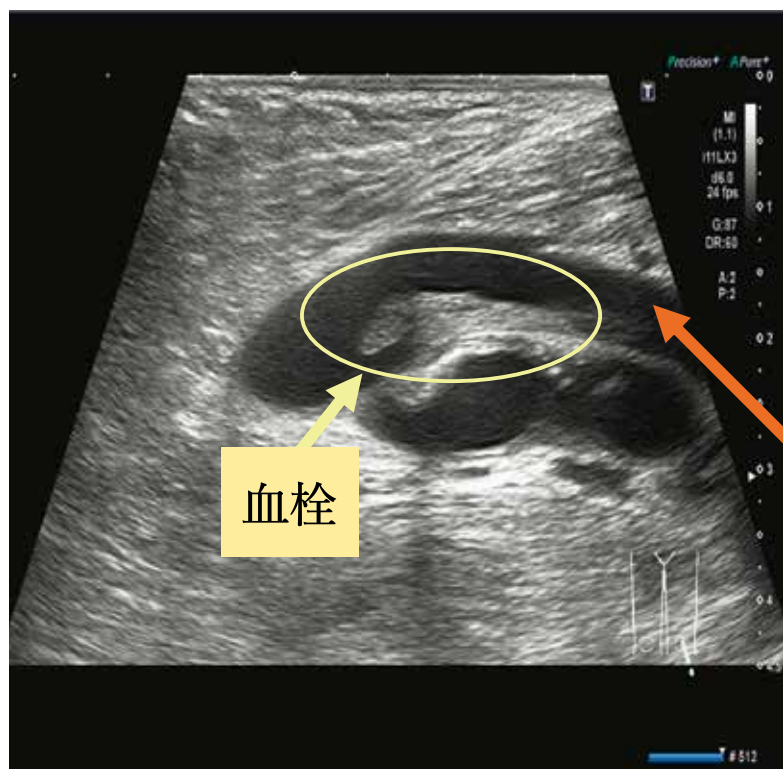
- 生理検査室では血栓ができていないか調べるために、超音波診断装置を使って下肢静脈エコー検査を実施しています。
- 手術した直後の患者さんに対しては、病棟での下肢静脈エコー検査も実施しています。

下肢静脈エコー検査ってどんな検査？

- プローブ(超音波が出る器具)を足に当てて、足の静脈に血栓ができていないかを調べる検査です。
- 下肢静脈エコー検査は、身体への負担はなく、特に痛みもありません。



実際の超音波画像ってどんなの？



左の画像は超音波診断装置で実際に撮影した血管の画像です。黒く写っている部分が血管
しっか(膝窩静脈:ひざの裏の静脈)で、黄色で囲った白い所が**血栓**です。

血栓が見つかった時の治療法

- 抗凝固療法:新しい血栓ができないように、血液をさらさらにする薬を飲む。
- 血栓溶解療法:血栓を溶かす薬を飲む。

